

再開発ビル 着工間近

中央3丁目 1番地区 石巻市中心商店街で第1号



災害対応型商業一体開発の分譲マンション「石巻テラス」の完成予想図

災害対応型
商業一体開発
分譲マンション77戸

東日本大震災で被災した石巻市中心商店街の再生に向け、再開発事業が、いよいよ大きく動き出す。第1号となる中央3丁目1番地区の再開発ビル（6階）の建築が2015年5月末の完成を目指し、5月ごろに工事が始まる。この後、各地区で順次着工が予定されている。中心商店街の再開発は長年の懸案事項で、震災を契機に機運が高まり、各地区で組合を組織して準備を進めている。

3月にモデルルーム

石巻商工会議所北東部で活用する。に位置する中央3丁目1番地区に整備されるのは、災害対応型商業一体開発の新築分譲マンション「石巻テラス」。建築を請け負う総合不動産デベロッパー「フージャースコーポレーション」（東京）によると、敷地面積4025平方メートルで、延べ床面積約1万840平方メートル。住戸は77戸、1、2階に設ける買い物に便利な商業施設は8店舗を開設の予定。津波や高潮などの災害から住人を守るため、住宅は3階（6戸）以上に配置。2階に設ける中庭は災害時に街の緊急避難場所とし

3LDKと4LDKタイプがある。販売価格は未定。3月にはJR石巻駅前にモデルルームがオープンする。再開発に関わる都市計画案で、街づくりカンパニー（東京）の西郷真理子代表取締役は「民間主導で行う第1号で、全国のモデルケースになる。街が魅力的になれば、地域は活性化する」と話している。再開発事業はこの後、立町2丁目5番地区が夏に着工が予定されているほか、立町1丁目14・15番地区などで計画されている。

欲しかった暮らしを、しよう。